

市民意見交換会（報告）

小川駅西口・中央公民館周辺施設の一体的検討 複合化等の方向性

1 市民意見交換会までの経過

3月 【中央公民館・健康福祉事務センターの更新等の適否の判断と複合化等の検討】

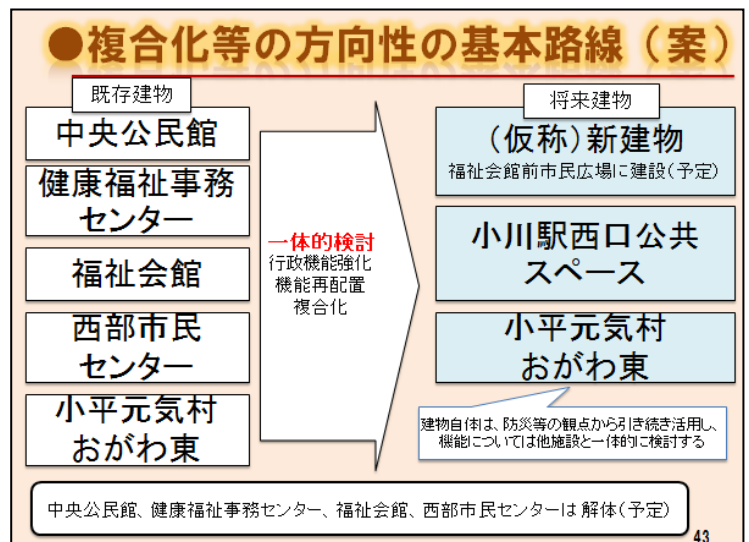
「中央公民館、健康福祉事務センター及び民具庫に関する更新等について」において、中央公民館は公民館の中核的な役割を担う機能から、健康福祉事務センターは事務機能の継続の観点から「更新等を行う」とした。また、「(仮称)中央公民館及び健康福祉事務センターの更新等に関する基本計画」策定方針を作成するとともに、両施設の建替えの際には、老朽化の進む福祉会館などとともに複合化等の検討を行うとした。

5月 【小川駅西口公共スペース取得】

小川駅西口地区市街地再開発事業による都市機能の集積や交通結節機能の充実により、にぎわい溢れる拠点などの「まちづくりの観点」から、また、市民の利便性を高め、老朽化の進む市内公共施設諸機能の再配置を検討するに当たり、小川駅西口は、公共施設集積の核のひとつとして好適とした「公共施設マネジメント」の観点から、小川駅西口地区市街地再開発事業に関する公共スペース（市民広場用地 約1,000㎡、再開発施設建築物の一部 約3,450㎡）を取得するとした。小川駅の近隣地域の西部市民センター・小平元気村おがわ東のほか、「(仮称)中央公民館及び健康福祉事務センターの更新等に関する基本計画」関連施設の中央公民館・健康福祉事務センター・福祉会館なども含め、機能移転、複合化などを一体的に検討することとし、量の豊かさから質の豊かさへの転換に向けた次の世代の公共施設づくりの検討を行うとした。また「(仮称)小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備基本計画」策定方針を作成した。

6月～8月 【市民意見交換会（複合化等の方向性について）】

上記の両基本計画に関連する施設を中央公民館、健康福祉事務センター、福祉会館、西部市民センター、小平元気村おがわ東とし、行政機能の向上、量の豊かさから質の豊かさへの転換に向けた次の世代の公共施設づくりなどの観点から、一体的に検討し、市役所周辺として(仮称)新建物、小川駅西口公共スペース、小平元気村おがわ東に機能再配置、複合化を提案した「複合化等の方向性の基本路線(案)」を提示した。また、機能再配置の基本的方向性として、中央公民館、健康福祉事務センター、福祉会館に関する機能は福祉会館前市民広場に建設を予定とする(仮称)新建物に、小平元気村おがわ東の一部及び西部市民センターに関する機能は、小川駅西口公共スペースにまとめていくことで、従来の利用環境に大きな影響が無いようにしていくと説明し、意見交換を行った。



市民意見交換会スライド資料より抜粋

2 参加状況

①	6月22日(金)	18時～20時	中央公民館講座室2	8名
②	6月24日(日)	10時～正午	小川西町公民館ホール	15名
③	7月11日(水)	14時～16時	東部市民センター集会室	10名
④	7月19日(木)	18時～20時	小川西町公民館ホール	17名
⑤	7月29日(日)	10時～正午	東部市民センター集会室	10名
⑥	8月5日(日)	14時～16時	中央公民館学習室4	27名

延べ87名

3 主な意見等

(1) 複合化等の方向性の基本路線(案)に関するもの

- ① 市の示す複合化等の方向性の基本路線(案)は妥当であると考えているが、小平元気村おがわ東を引き続き活用する場合、延べ床面積は減少しないのではないか。
- ② 中央図書館についても、一体的に整備する考えはないか。
- ③ 既存の建物はいつまで使用する予定なのか。
- ④ 小川駅西口再開発ビルの最上階にレストランを入れるなど、人を呼び込める魅力あるスペースにしてほしい。
- ⑤ 建物解体後の跡地の活用についても、検討しておくこと。
- ⑥ 建築費や維持管理費に配慮し、市民負担の増加にならないように配慮すること。また、一定の収入が得られるような手法により、コストメリットを図ることができるような仕組みも検討してほしい。
- ⑦ 延べ床面積20%以上の縮減のなかで、本事業の複合化などによりどの部分が縮減されるのか。
- ⑧ 小平元気村おがわ東は萩山駅であり、小川駅とは距離が離れている印象がある。

(2) 今後の市民参加に関するもの

- ① 今後もこのような市民の声を聞く機会をつくってほしい。利用団体やサークルの意見も聞いてほしい。
- ② バリアフリーの施設となるように、高齢者や障がい者の声もきちんと聞くこと。
- ③ 個別にヒアリングを行うなど、きめ細かな市民参加を行ってほしい。

(3) 機能等に関するもの

- ① 駐車場の確保についても考えておくこと。
- ② 高齢者や障がい者が使いやすい施設にしてほしい。
- ③ 現状の部屋の数と面積が減るのは困る。
- ④ (仮称) 新建物、小川駅西口公共スペース、小平元気村おがわ東にどのような機能が入るのか。
- ⑤ 郵便局の敷地内に保育園を開設するなどの事例がある。従来の手法にとらわれず、新しいアイデアも検討してほしい。

(4) その他

- ① 小川駅西口公共スペース取得後の数十年後に訪れる建替えの際には、様々な調整など簡単ではないことが想定されることから、今の段階から整理しておくべきである。
- ② 施設までの交通アクセスについても検討してほしい。
- ③ 使用料の減免に関する取扱いについて、どのように取り扱われるか示してほしい。
- ④ 複合化による他自治体の良い事例があれば、研究して取り込んでほしい。
- ⑤ 小学校及び中学校全体の統廃合をどうしていくのかについて示すべきである。
- ⑥ 小学校に地域対応施設を複合化していくという市の考えには賛成である。

- ⑦ 民間企業では建物の建て替えなどに向けた貯金を行っている。市の積立金などの状況はどうか。
- ⑧ 広域対応施設、地域対応施設のどちらかに偏った再編を行うのではなく、バランスを考慮すること。
- ⑨ 高齢者の健康増進のために、軽い体操ができるスペースが必要である。
- ⑩ 東部公園プールの7月・8月以外の使用されていない期間の活用について検討してほしい。

4 今後の市民参加について

市民、利用者・利用団体、入居団体、地域住民、若者を対象に、ワークショップを軸として市民参加を行う。また、ワークショップの他、ヒアリング、個別インタビュー、アンケート等を組み合わせながら、機能配置などをテーマとして、平成31年3月頃にかけてニーズを把握する予定である。